

阪急阪神ホールディングス株式会社
(証券コード：9042)

トップメッセージ 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

昨年9月に宝塚歌劇団宙組劇団員が逝去された件につきましては、株主の皆様をはじめ多くの皆様にご迷惑・ご心配をお掛けしましたことを、心よりお詫び申し上げます。再び皆様にご愛顧いただけるよう、宝塚歌劇団の改革及びガバナンス体制の一層の強化等を、当社グループが一丸となって全力で進めてまいります。

当社グループは、2022年5月に公表した「阪急阪神ホールディングスグループ 長期ビジョン-2040年に向けて-」を実現すべく、その実行計画となる中期経営計画(計画期間:2022~2025年度)を策定し、さまざまな施策を推し進めています。2023年度は、既存事業において、収支構造の強靱化に向けて進めてきた取組等の成果を活かしながら、着実に利益を回復させてまいりました。

2023年度の連結決算は、旅行事業・国際輸送事業において前期に一時的な需要に対応したことによる反動があったものの、都市交通事業において旅客数に一定の回復がみられたことや、不動産事業においてホテルの宿泊需要の回復に加え、分譲、賃貸及び海外不動産等の各事業も伸長したこと、またエンタテインメント事業において阪神タイガースがリーグ優勝及び日本シリーズ制覇を遂げるなど、スポーツ事業が好調に推移したこと等により、営業収益は9,976億円、営業利益は1,057億円、経常利益は1,094億

円、親会社株主に帰属する当期純利益は678億円と、いずれも前年度を上回りました。

当期の期末配当金につきましては、1株につき30円(中間配当金を含めて年間55円)といたしました。なお、近時の業績の推移等を踏まえて、次期(2024年度)の利益配分から、1株当たりの年間配当金を60円(中間配当金30円、期末配当金30円)に引き上げることを予定しております。

当社グループでは現在、市場の将来性や資本効率等の観点から、事業ポートフォリオや経営資源の配分のあり方等について継続的に検討を深めております。変化する事業環境の中でも、さまざまなステークホルダーの期待に応え、持続的に成長できる企業グループとなることを目指してまいりますので、株主の皆様におかれましては、今後も当社グループへ一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



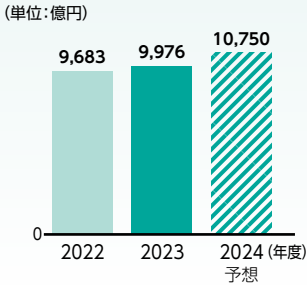
代表取締役会長 グループCEO

角 和夫

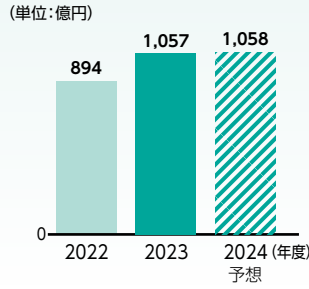
代表取締役社長

嶋田 泰夫

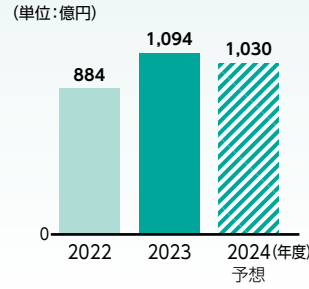
営業収益



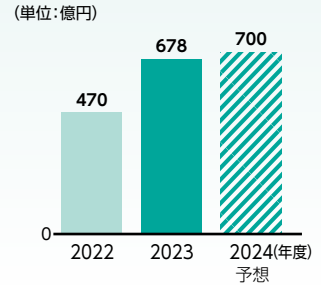
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



ポイント

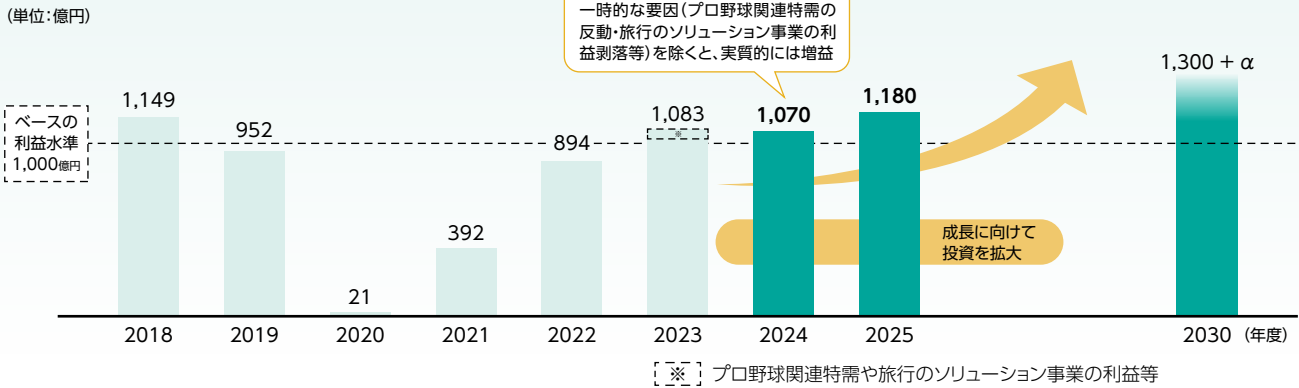
2023年度決算

- 不動産事業においてホテルの宿泊需要が回復した
- 都市交通事業において旅客数に一定の回復がみられた
- エンタテインメント事業において阪神タイガースがリーグ優勝及び日本シリーズ制覇を遂げるなど、スポーツ事業が好調に推移した
- 旅行事業・国際輸送事業においては、前年度に一時的な需要に対応したことによる反動があった

2024年度見通し

- 不動産分譲事業(マンション等)の規模拡大、国際輸送事業の下期にかけての航空輸送を中心とした一定程度の市況回復を見込む
- プロ野球関連特需の反動による減益、旅行のソリューション事業の利益剥落等のほか、都市交通事業における減価償却費や動力費等の諸経費の増加、宝塚歌劇の体制整備に伴う諸費用の増加等を見込む

事業利益の推移



当社グループでは、経営指標として、営業利益に海外事業投資に伴う持分法投資損益を加えた「事業利益」を導入しています。これにより、海外事業(不動産事業等)の成長に向けた取組の進捗状況を正確に示します。なお、2022年度以前は事業利益=営業利益です。

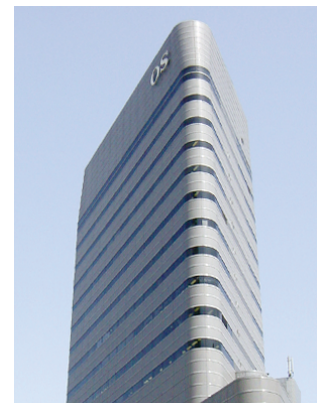
▶ 連結業績の詳細など、より詳しい情報は、当社ウェブサイトの「株主・投資家向け情報」をご覧ください

こちらからご覧いただけます▶

株式公開買付けによりオーエス株式会社が
当社子会社となりました

大阪梅田エリア全体の価値向上に向け、不動産事業やエンタメ・サービス事業を行うオーエス株式会社に対して2023年12月7日より株式公開買付けを実施しました。その結果、同社は2024年1月31日に当社グループの持分法非適用関連会社から連結子会社となり、4月9日には完全子会社となりました。

今後、グループとして不動産事業に係る戦略の一本化を図るなど、一体となってさらなる発展を目指していきます。



北大阪急行電鉄が箕面市まで延伸

北大阪急行電鉄の南北線延伸区間(千里中央～箕面萱野駅間/2.5km)が3月23日に開業し、大阪府箕面市に「箕面萱野駅」「箕面船場阪大前駅」の2駅が新たに誕生しました。

これにより、箕面萱野駅とOsaka Metro梅田駅が最速25分で結ばれ、箕面市から大阪都心部へ乗り換えなしでアクセスが可能となりました。新駅周辺では商業施設の開業やマンション建設なども進んでおり、さまざまな関係者の皆様との連携を強化し、住みやすく活力や魅力に満ちた沿線づくりにも貢献していきます。



箕面萱野駅(高架駅)



箕面船場阪大前駅(地下駅)

[詳しくはこちら ▶](#)

阪急京都線で座席指定サービス『PRiVACE(プライベート)』を導入

阪急電鉄では、京都線に座席指定サービス『PRiVACE(プライベート)』を7月から導入します。

特急系種別列車(特急・通勤特急・準特急)の一部において、大阪方から4両目をプライベートとして運行。座席を3列(2列+1列)配置とすることで、座席幅と足元の前後のスペースを広げ、プライベート感と快適性を兼ね備えた上質な空間づくりを実現するほか、車両には専属のアテンダントが添乗します。リラクスのひととき、ちょっとした読書タイムなど、それぞれの“自分時間”を過ごしていただけるプライベートに、どうぞご期待ください。



外観



客室内

座席指定料金:500円(別途運賃が必要です)
ご予約にあたっては、専用WEBサイトで列車と座席をお選びください

[詳しくはこちら ▶](#)

阪神甲子園球場100周年記念事業を展開

阪神甲子園球場は、今年8月1日に開場100周年を迎えます。7月30日から8月1日に行われる阪神—巨人の3連戦を“KOSHIEEN CLASSIC SERIES”と銘打って、1塁・3塁の両アルプススタンドの座席販売数を拡大する「超満員プロジェクト」などのイベントを実施します。

このほかにも、さまざまな100周年記念事業を展開し、国内外の皆様にも野球の聖地としての甲子園球場の歴史と伝統を知っていただくとともに、次の100年に向けて、次世代育成や環境保全にもつながる取組を積極的に推進していきます。



[詳しくはこちら ▶](#)

現代アートの芸術祭「神戸六甲ミーツ・アート2024 beyond」を開催

六甲山観光と阪神電気鉄道は、8月24日から11月24日まで、神戸・六甲山上の9会場で現代アートの芸術祭「神戸六甲ミーツ・アート2024 beyond」を開催します。

15回目を迎える今回は“新しい視界 Find new perspectives.”をテーマに、内容を一層充実させ、さらに広域からのお客様にもお越しいただける芸術祭を目指します。神戸を象徴する山、六甲山で、ぜひゆっくりと自然・文化・アートをお楽しみください。



[詳しくはこちら ▶](#)

株主優待のご案内

3月末、9月末時点で100株以上ご所有の株主の皆様へ、以下のとおり、株主優待回数乗車証(阪急・阪神共通回数カード)や株主優待乗車証(全線パス)、グループ各社でご利用いただけるグループ優待券(1冊)をお送りしております。

▶ 株主優待回数乗車証および株主優待乗車証

株主優待回数乗車証(阪急・阪神共通回数カード) 株主優待乗車証(全線パス)

共通回数カードの通用区間：阪急電車線および阪神電車線全線
(いずれも神戸高速線を除く)

株主優待乗車証(全線パス)の通用区間：阪急電車線全線(神戸高速線を除く)
・阪神電車線全線(神戸高速線を除く)

詳しいご利用方法等につきましては、株主優待とともにお送りしているご利用案内をご覧ください。

(2024年6月現在)

優待基準株数	優待内容	株主優待回数乗車証 (阪急・阪神共通回数カード)	株主優待乗車証 (全線パス)
100~199		2回カード×1枚 (2回乗車分)	—
200~479		4回カード×1枚 (4回乗車分)	—
480~999		4回カード×3枚 (12回乗車分)	—
1,000~1,999		25回カード×1枚 (25回乗車分)	—
2,000~6,199		30回カード×2枚 (60回乗車分)	—
6,200~9,799 ※①②のいずれかを選択		①30回カード×2枚 (60回乗車分)	—
		②10回カード×1枚 (10回乗車分)	阪神電車全線パス1枚
9,800~15,999 ※①②のいずれかを選択		①10回カード×1枚 (10回乗車分)	阪急電車全線パス1枚
		②10回カード×1枚 (10回乗車分)	阪神電車全線パス1枚
16,000~199,999		10回カード×1枚 (10回乗車分)	阪急電車全線パス1枚 + 阪神電車全線パス1枚
20万以上		10回カード×1枚 (10回乗車分)	阪急電車全線パス10枚 + 阪神電車全線パス10枚

▶ グループ優待券

グループ優待券のご利用範囲については券面をご参照下さい。なお、ご優待内容や対象施設については、予告なく変更する場合がございますので、ご了承下さい。

主な内容
施設入場券  <p>自然体感展望台 六甲枝垂れ</p>
ホテル宿泊・飲食割引券  <p>ホテル阪急レスパイア大阪</p>

送付時期・有効期限

株主優待については、9月30日、3月31日の株主名簿に基づき、それぞれ11月下旬、5月下旬に発送します。有効期間については、「阪急・阪神共通回数カード」は1年間、その他の優待は半年間です(施設により異なる場合があります)。

株主メモ

決算期 3月31日

定時株主総会 6月

基準日 定時株主総会権利行使株主確定日/3月31日
期末配当金受領株主確定日/3月31日
中間配当金受領株主確定日/9月30日

単元株式数 100株

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
TEL.0120-094-777(通話料無料)

公告方法 電子公告 (URL <https://www.hankyu-hanshin.co.jp/ir/>)
但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載

株式のお手続きに関するお問い合わせ先

手続の内容	株式口座の開設先	証券会社	特別口座(※1)
マイナンバーのお届出(※2)			
住所変更、単元未満株式買取請求・買増請求などの各種お手続き		口座開設先の証券会社	三菱UFJ信託銀行株式会社(口座管理機関) 大阪証券代行部 TEL.0120-094-777 (通話料無料)
特別口座から証券会社の口座への振替請求		—	

※1 2009年1月5日の株券電子化時に、株券をお手元に保管されていた株主様の株式(登録株を含む)につきましては、特別口座で管理されています。特別口座で管理されている株式につきましては、一般口座にお振替いただくことができます。三菱UFJ信託銀行大阪証券代行部までお問い合わせ下さい。

※2 2015年10月以降、市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係の手続で必要となるため、株主様から、株式口座開設先の証券会社などへマイナンバーをお届出いただく必要があります。マイナンバーのお届出の詳細につきましては、株式口座開設先の証券会社などまでお問い合わせ下さい。

第186回定時株主総会に関するご報告

2024年6月14日に開催しました第186回定時株主総会の決議の結果につきましては、以下のページに掲載しております。

株主・投資家向け情報>株式・債券情報>株主総会

[こちらからご覧いただけます▶](#)

発行： 阪急阪神ホールディングス株式会社

〒530-0012 大阪市北区芝田一丁目16番1号 <https://www.hankyu-hanshin.co.jp/>

